

【参考資料】※下部に発表会の様子についての写真を添付しております。

プレス発表会 一問一答

■司会：グルメイノベーション株式会社 野間口兼一

■ゲスト：ラーメン神主 石山勇人 、 元ラーメン女子大生 本谷亜紀

司会：まずはお二人にそれぞれ自己紹介を宜しくお願いいたします。

石山：皆さん、初めましてラーメン評論家をしております石山勇人と申します。現在、TBS系列の「王様のブランチ」でラーメンの担当をさせていただいたり、カップラーメンの監修、更に今年原宿に自らプロデュースしたラーメン店をオープンする予定です。また、先日「ラーメンクライマックス 2013」というラーメンムック本を出しました。どうぞ宜しくお願いいたします。

司会：ありがとうございます。ちなみに石山さんは年間で過去最高何杯くらいラーメンを食べられたのでしょうか？

石山：おおよそですが700杯程度です。仕事で食べるだけでも年間400杯ほどあり、そのほか研究や食べ比べのため自ら300杯程度食べます。

司会：すごいですね（笑）ありがとうございます。さて続いて、本谷亜紀さんです。宜しくお願いします。

本谷：はい、宜しくお願いします。私は、テレビ朝日系列「お願いランキング！」でラーメン女子大生として出演させていただいておりました。現在、雑誌の連載や、テレビ番組でのラーメン解説などしております。世の中の女性で、本当はラーメンをもっと食べたいのだけど、なかなか恥ずかしくて食べに行けないという方はTwitterなどを見ているとまだまだ多いと感じています。特に、二郎系と言われるガツリラーメンなどは恥ずかしいみたいです。そんな女性にももっともっと気軽においしいラーメンを食べてもらいたいと思っています。

司会：ありがとうございます。さて、それぞれに伺いたいのですが、これまでおいしいラーメンは行列に並び、お店で出されたものを食べるというのが当たり前だったわけですが、その本物のお店のラーメンの味をそのままご自宅や、ご職場で食べられる宅麺については、どのようにお考えでしょうか？まずは石山さん。

石山：はい。これはもう本当に画期的なことだと思います。カップラーメンや、袋麺と言われる即席麺の市場は現在も「中食」と言われ伸びているわけですが、更に宅麺のラーメンはすごい！お店の味がそのまま中食として食べられる。本当にすごい時代になったな、と感じています。

司会：本谷さんはいかがですか？

本谷：私も同じです。特に、女性にとっては本当に嬉しいニュースだと思います。これまでお店でしか味わえなかった有名店のラーメンをご自宅で誰の目を気にすることなく、楽しんでもらいたいです。そして、それをきっかけにラーメンを好きになってくれる女性がもっと増えてくれたら私もすごく嬉しいです。

司会：なるほど、本谷さんは特に同じ女性にもっとラーメンを食べて欲しい。宅麺のラーメンはそのきっかけになってほしい、と。お二人は、ご自宅の冷凍庫に宅麺のラーメンは常備されているのですか？

石山：はい、もちろんです！カップ麺、即席麺などと同じく宅麺の商品も常備しています。本格的なおいしいラーメンを食べに行きたいけど、行く時間がないときなどとても重宝していますね。

本谷：おいしいラーメン屋さんって、結構遅くまでやっているところが少ないんですよ。なので、ふと夜中にラーメンが食べたくなったときなど冷凍庫にあると本当に嬉しいです。ちょっとしたときにラーメンを食べたくなることが多いんですけど、わざわざ着替えて出かけるのは面倒というとき、本当に冷凍庫にあるとラッキーって思います（笑）

司会：はい、まさに宅麺のこれまでのお客様は「食べておいしい！また頼みたい！」とっていただいているだけでも、なかなか定期的に注文するのが面倒くさい、またそのうち忘れてしまう。食べるとおいしいんだけど。という方が大勢いらっしゃいました。そんな中、食べれば必ずおいしい宅麺の商品が定期的に自宅に届く。更に、お二人のような本当のプロフェッショナルが選んだ商品が届くわけです。最後にお二人から、意気込みをそれぞれお聞かせください。

石山：はい。年間 700 杯食べている私が本当においしいと思うものだけ、皆さんに食べて欲しいと強く思うものだけをお薦めします。間違いありませんので是非お試しください！

本谷：あっさりしたものから、ガッツリ系のもので、私が皆さんにお届けしたい！と思うものだけを、選びます。特に女性には、この機会にもっともっとラーメンの魅力、奥深さを知ってもらいたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします！

司会：お二人とも、本日は本当にありがとうございました！！

以上

10月29日（金）19:30-21:00

東京都港区西麻布 1-10-8

NOMAD NEWS NASE

【参考画像】

上から、参考画像①（本谷亜紀氏）、参考画像②（石山勇人氏）、参考画像③（本谷氏、石山氏）、参考画像④（本谷氏、石山氏、弊社取締役野間口）となります。ご自由にお使い下さい。



